<u>◎基本情報</u>																	
事務事業名 観光ボランティアガイド育成事業							担当部署		経済建	設部 智	見光排	長興課					
	政策(	大項目)			力と魅力あ				根拠流計画な								
政策					魅力あふれ	いるま	き なん	ると		開始	平成	•		1	9 年度		
				現光 現光・交流のまちづくり				事業期間	ᄱ	1							
差	本				・父流のまちつくり 外の観光客受け入れ態勢の整備					終期	未定				•		
◎事業			T	11, 151	EN./0 11 ~ · · ·	/ \1 = .	ルンファー・	IE Pro		7,2							
	1134.3	<u> </u>	IN)	✓ 個,	人 世神	帯	団 団・	体	<del>7</del> 0	D他	内部	『管理					
事業対象				講座受	講座受講者及び観光客												
事業目標				近年、団体旅行から個人を単位とした旅行に変化しつつあり、観光客にとってボランティアガイドに対するニーズが高まっている。こうしたことを踏まえ、観光客と触れあいながら、本市の観光 資源を紹介・案内できる、市民参加による「なると観光ボランティアガイド」の育成を図る。													
事業計画				するとと <del>、</del> より、ガイ	観光ボランティアガイド養成講座を開催する。養成講座受講者を増やすためのPR活動を実施するとともに、ボランティアガイドを活用したツアー企画を旅行エージェントに売り込むことなどにより、ガイドの活躍の場を広げる。 養成講座受講者がボランティアガイドとして定着するような組織・体制づくりを進める。												
-					指標	名			28年度	度 29年度 30年度 31年度 32年			年度	単位			
成果 目標	事業	目標の記	達成度合	観光ボラ	観光ボランティアガイド数			50	50	5	0 5	50	50	人			
◎実施	結界	(DO)		_													
事業 実施 内容	実施」するため、手段として				観光ボランティアガイド養成講座を開催した。また、養成講座の受講者増を図るため、広報やイベント参加等によるPR活動を行った。 観光ボランティアガイドを活用したツアー企画を旅行エージェントに売り込むなど活躍の場を広げた。												
耳	業	実施手	法	□ 市実	施	一部委	託	/ 委詰	ŧ	補	□ 補助金 □ その他						
				票名			28年度実	25	年度実績	30年度	目標 31年	F度目標	32年度	目標	単位		
実施した事	実施した事業 の活動量を示		ボランティ	アガイド養成講座実施回数 1			10	10		10	10		10	回			
対象にどのうな効果が	うな効果が		ランティ	アガイド	数		34		36	_		_			人		
あったか示 指標	9		目標達	重成率(実績/目標)				72.0		_					%		
今年	今年度の進捗状況			未達成				事第	全体の	進捗状	₹状況		遅れている				
		白	F 度	区分	国		県	냂	2方債	その他特	生定財源	一般則	北道	車業	(千円) <b>養計</b>		
			- /2	当初予算額	0		0		0 0		0		300	3- 21	300		
			補	補正予算額	0		0		0		0		0		0		
財源内訳				繰越予算額	0		0		0		0		0		0		
		<b>尺</b>	全体予算額	0		0		0		0		300		300			
		平成29年度 		平成29年度	29年及	決算額	0		0		0		0		300		300
				繰越額	0		0		0		0		0		0		
			1 bt =	1	正規職員(7,234千	円/人)	臨時職員(	(2,492 <del>1</del>	円/人)	総人	件費		総事	業費	<u>;</u>		
				人件費		0.2			0.0		1,447	7			1,747		

## 【鳴門市行政評価】

【事務事業名:観光ボランティアガイド育成事業】

						1 100 1 111 11 1701	70 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	11 17/74 7-78/2
		年	度	28年度決算	29年度決算	30年度	31年度	32年度
		事業	美費	300	300	300	300	300
事業費推移		うち・	一般財源	300	300	300	300	300
	人件費		‡費	1,427	1,447	1,447	1,447	1,447
		総事業費		1,727	1,747	1,747	1,747	1,747

◎項目別評価(CHECK)

評価	項目	評価	値	所見欄				
①活動に対	有効性	B:概ね有効t	生があった	養成講座では、市の取り組みを紹介するとともに、県外のボランティアガイド会との交流や実施研修などバラエティに富んだ講座を実施している。				
する評価	効率性	B:概ね効率	的だった	養成講座修了者の全員がガイド会に入会してい る。				
	指標名	観光ボランティ	ィアガイド数					
②成果に対	目標	50	人	目標には到達しなかったものの、前年度の人数よ				
する評価	実績	36	人	り増加している。				
	評価	C:あまり目標を達	成できなかった					
③総合的	りな評価	В		目標を達成できていないが、前年度の人数より増加していることから、B評価とする。				

## ◎今後の方向性(ACTION)

育成されたボランティアガイドを効果的に活用するため、十分な周知を行いながら、観光客のニーズに対応するため新たな観光コースの設定も行わなければならない。 観光客の需要を満たす人材を確保するためには、養成講座の継続が必要であり、ボランティアガイドが定着していくような組織づくりを進める必要がある。

| 観光ガイド数が増加傾向にある中、養成講座の申込者数が低迷しており、周知を強化する必要がある。

今後の方向性		1.廃止		2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3		
↓ 今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。									
実施内容	H30	)年度	引き続き、観光ボランティアガイド養成講座を開催し、受講者の増加を図るとともに、ボライドを活用したツアー企画を旅行エージェントに売り込むなど活躍の場を広げる。 養成講座の申込者数増を図るため、周知を強化する。						
	H31	年度	平成30年度の反省点等を踏まえ、事業内容の見直し・検討を行う。						